

# 健康と文化の森地区 まちづくりだより

## 第6回と第7回の健康と文化の森地区まちづくり協議会

が開催されました！

### 第6回まちづくり協議会の開催

#### 第6回まちづくり協議会の概要

- 日時：平成 26 年 1 月 14 日（火）  
午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 場所：秋葉台文化体育館 大会議室
- 概要

はじめに、第 4 回まちづくり協議会のワークショップで出されたまちづくりの方向性に関する意見について、ふりかえりを行いました。

前回の意見をふまえたうえで、2 グループにわかれてワークショップを行い、より具体的なまちづくりのコンセプトやキャッチフレーズにつながるキーワードについて意見を出し合いました。

#### ワークショップで出された主な意見

##### 【健康・医療にかかわる意見】

- ・医者がいないまち(食・運動)
- ・病気になった時でも安心できるまち
- ・先進的な介護ケア
- ・福祉と子育て

##### 【食と農にかかわる意見】

- ・農業特産物、おいしい食べ物
- ・農業と市街地が調和して安定経営を確保
- ・地元での野菜づくり(安全・雇用につながる)

##### 【環境との共生】

- ・自然豊かな美しいまち
- ・自然を活かす(開放的・都市的な公園)
- ・河川の改修

#### ワークショップの様子



##### 【学術研究活力増進】

- ・頭脳集結のまち(人や団体等が集結)
- ・シリコンバレーのように IT を生かす
- ・勉強した学生が起業できるような環境
- ・大学(学術研究)と地域との共生(自然環境・農業)

##### 【コンセプトにかかわる意見】

- ・にぎわい・農業・環境のバランスのとれたまち
- ・守るべきものは守り(自然・農)、開発すべき所は開発する(にぎわい)調和のとれたまち
- ・今までにないような新しいまち(必ずしも伝統にこだわらない)
- ・色々な世代が住むようなまち
- ・基本的に高い建物が無い、落ちついたまち(採算性を考えて妥協も必要)

## 第7回まちづくり協議会の開催

## 協議会の様子

### 第7回まちづくり協議会の概要

- 日時：平成26年2月27日（木）  
午後1時30分～午後3時30分
- 場所：秋葉台文化体育館 大会議室
- 概要  
はじめに、第6回まちづくり協議会のワークショップで出されたまちづくりのコンセプトやキャッチフレーズに関する意見について、ふりかえりを行いました。



そのあと、西北部地域総合整備マスタープラン、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスでの取り組み、当該地区に指定されている特区の状況など、地区の概況について確認しました。

さらに、検討委員会で検討をおこなっているまちづくりの方向性について確認した後、意見交換をおこないました。

### 地区の概況での主要内容

#### ◎慶應義塾大学未来創造塾

湘南藤沢キャンパス（SFC）隣接地に2ヘクタールの敷地を確保し、「未来創造塾」という国内外の研究者が利用する滞在型教育研究施設が建設予定です。

計画収容人数は180人で、平成27年秋に1期工事が完成予定です。すでに平成21年度から滞在型教育プログラムとハウス制度を試験的にスタートしています。

#### ◎健康と文化の森地区周辺の特区の状況

健康と文化の森地区や慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス、は「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略特区」と「さがみロボット産業特区」に指定されており、これらの特区に関連した医療・健康や介護の分野についての研究開発施設や企業の集積による地域の活性化、先端技術を活用した地域の健康・医療のまちづくりの展開などが期待されます。



出典：「慶應義塾大学未来創造塾」ホームページ



出典：神奈川県ホームページ

## 主な意見交換の概要

※「⇒」は藤沢市等の回答

◎まちづくりを行う区域内に農業を継続したい人がいる場合、どのような対処が考えられるのか？

⇒ 地区内でそのまま農業を継続する方法、地区内で場所を移して農業を継続していただく方法、地区外に移転して農業を続けて頂く方法などが考えられます。

◎線引き（市街化区域編入等）について神奈川県と協議を始めたとのことだが、どのような状況か？

⇒ 神奈川県の第7回目の線引き見直しに向けた検討が1月から始まりました。今後協議を重ねて、神奈川県の素案が決まる予定です。この地域については、すぐに市街化区域に編入することは難しそうなので、保留区域という制度を使って、将来的に市街化を進める地域として指定していく方法等が考えられます。

◎駅の乗降客数の想定と、市街化区域への編入の話とはどのような関係か？

⇒ 鉄道の採算性を考えると新駅では約18400人の乗降客が必要で、そのためには30ha程度の市街地整備が前提となる、という試算をしています。市街地整備をするためには市街化区域編入が手段の1つとして考えられます。また、将来的にこの地域に立地するような企業があるかどうか、企業にもヒアリングを行っており、その結果なども踏まえて、より具体的な整備ボリュームを検討していく予定です。

◎葛原の新産業の森の時には、関係行政機関との協議にかなりの時間がかかったが、今回はどのように進める予定か？

⇒ 今回は、鉄道の新駅ができるということ、慶應大学がすでに立地していること、2つの特区に指定されていることなど、駅の整備のほかに開発のポテンシャルが高いまちづくりであることを説明して、理解を得たいと考えています。

◎慶應大学が来て遠藤地区は大きく変わった。今後のまちづくりにおいても慶應大学の関わりを大いに期待しているが、どのような可能性があるか？

⇒ 慶應大学湘南藤沢キャンパスでは、環境や情報などに関して最先端の取り組みを行っていて、将来的にも様々な研究成果が期待でき、地域の活性化に貢献できると考えています。今後、地域のみなさんにいろいろと情報提供する機会を設け、多くの接点をもてるようにしていきたいと考えています。（※慶應義塾大学 SFC からの回答）

◎鉄道の採算性が取れる乗降客を確保するためには、結構なまちを整備しなければならないと思われる。農家の方々も不安になるので、できるだけ早い時期に方向性を示して欲しい。

◎区域内で残りたい農家の方が多ければ、範囲が30ha程度では済まなくなるはずなので、そのようなことも考慮して検討を進めるべき。

## 第2回藤沢市健康と文化の森地区まちづくり基本計画策定検討委員会 が開催されました！

### 検討委員会について

メンバーは有識者や関係行政機関等で構成されており、まちづくりの方向性や方策について議論を重ね、基本構想および基本計画の策定を検討していきます。

(座長：慶応義塾大学 日端康雄名誉教授)

### 第2回検討委員会の概要

- 日時：平成26年2月4日（火） 午後3時～午後5時
- 場所：慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス 本館4階 大会議室
- 議事内容
  - ・地区の概況についての確認
  - ・まちづくりビジョンの検討

## 今後のまちづくり協議会の進め方

検討委員会と連携しながら、今年度は基本構想の策定をめざします。

《平成24、25年度》

第1～5回協議会  
(H25.3.18～H25.11.26)

- ・会の発足
- ・協議会の目的と今後の進め方の確認
- ・まちあるきの実施
- ・ワークショップ
- ・柏の葉キャンパスタウンの視察

第5回協議会  
(H26.1.24)

- ・ワークショップ形式で、まちづくりのコンセプトにつながるイメージなどの検討

第7回協議会  
(H26.2.27)

- ・地区の概況の確認
- ・まちづくりの方針の確認

第8回協議会  
(H26.3.24)

- ・まちづくり基本構想の確認

基本構想

《平成26年度》

第9回以降協議会

- ・新駅周辺のまちづくりの検討詳細化
- ・まちづくりのルール及び整備手法の検討等

基本計画



### 健康と文化の森地区のまちづくり情報をホームページで配信中

下記のアドレスを直接入力いただくか、藤沢市のホームページで「健康と文化の森」をキーワード検索して、健康と文化の森地区のまちづくりサイトにアクセスしてください。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/seihoku/page100039.shtml>



「まちづくりだより」に関するお問い合わせ、ご意見などはこちらまで

健康と文化の森地区まちづくり協議会事務局

藤沢市 都市整備部 西北部総合整備事務所  
担当：政井、長田、小藤田

〒252-0805 藤沢市円行 2-3-17  
まちづくり協会ビル3階  
電話：0466-46-5162（直通）